

(2) 長期借入金

平成18年度末の長期借入金の状況は、次のとおりです。

ア 地方債の現在高

区 分	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末
一 般 会 計	1兆 6148億 6千 5百万円	1兆 5758億 7千 万 円	1兆 5467億 2千 4百万円
特 別 会 計	417億 5百万円	412億 9百万円	401億 2百万円
合 計	1兆 6565億 7千 万 円	1兆 6170億 7千 9百万円	1兆 5868億 2千 6百万円

イ 地方債目的別現在高

目 的	現 在 高	目 的	現 在 高
一 般 会 計	1兆 5467億 2千 4百万円	3 その他	2318億 5千 5百万円
1 普通債	1兆 2986億 1千 2百万円	(1) 災害援護資金債	1千 4百万円
(1) 土 木	9089億 4千 2百万円	(2) 減税補てん債	419億 7千 8百万円
(2) 農 林 水 産	2110億 4千 6百万円	(3) 臨時税収補てん債	73億 5百万円
(3) 教 育	656億 7千 4百万円	(4) 臨時財政対策債	1795億 5千 8百万円
(4) 公 営 住 宅	238億 1千 万 円	(5) 退 職 手 当 債	30億 円
(5) 社 会 労 働	158億 2千 万 円	特 別 会 計	401億 2百万円
(6) 保 健 衛 生	104億 6千 万 円	県 営 林 経 営 費	31億 5百万円
(7) 商 工	21億 6千 8百万円	小規模企業者等設備導入資金	39億 6千 8百万円
(8) 警 察	133億 7千 1百万円	農 業 改 良 資 金	2億 7千 3百万円
(9) 庁 舎	58億 1千 万 円	流 域 下 水 道 事 業 費	327億 5千 6百万円
(10) そ の 他	415億 1千 万 円	合 計	1兆 5868億 2千 6百万円
2 災害復旧債	162億 5千 8百万円		
(1) 土 木	158億 1千 2百万円		
(2) 農 林 水 産	4億 3千 万 円		
(3) 教 育	1千 6百万円		

(注) 百万円未満の端数のため、各項目を足した額と合計、小計等の数値が一致しない部分があります。

6 平成18年度一般会計決算の見込み

平成18年度の県財政は、地方交付税等が引き続き削減されるなど厳しい財政状況にありましたが、「選択と集中」の発想を徹底し、事業の再構築を行いながら、産業の活性化や安心・安全な暮らしの確保、平成18年7月豪雨災害への対応など真に必要な施策を積極的に展開してきました。

歳入のうち県税については、県内経済が緩やかに拡大する中で法人関係税が増収となるなど、前年度を6.4パーセント程度上回る見込みとなりました。また、歳入の確保や事業見直しによる歳出の削減、効率的な予算執行に努めてきた結果、当初予定していた基金取崩しの一部を圧縮し、一般会計の実質収支は32億円余の黒字を確保できる見込みとなるとともに、普通会計の県債残高は前年度から370億円程度縮減できる見込みです。

第2 公営企業の業務の状況

1 長野県病院事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成18年度後期における県立5病院の利用人員は、入院16万4,043人、外来21万6,578人、計38万621人で前年度同期に比較し、7,017人の減少となりました。

収益については、前年同期に比較し入院収益と外来収益を合わせ2億8,349万7,687円の増収となりました。

また、平成18年度後期における介護老人保健施設2施設の利用人員は、入所1万5,814人、通所539人、計1万6,353人で、収益については、入所と通所を合わせ1億6,400万6,353円となりました。

病院の施設整備については、須坂病院感染症病棟整備事業のほか、木曽病院救急処置室ほか改修工事などを実施するとともに、各病院の医療機器等の整備充実に努めました。

平成18年度後期の実績は、次表のとおりです。

利用状況

(平成18年10月1日～平成19年3月31日)

病院名	診療科目	病床数	患者数				延べ人員計
			入院		外来		
			延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県立須坂病院	内科、神経内科、小児科、外科、循環器科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、形成外科	338	49,527	268	74,904	613	124,431
長野県立駒ヶ根病院	精神科、神経科	239	28,888	164	13,871	113	42,759
長野県立阿南病院	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科	184	21,015	114	28,932	230	49,947
長野県立木曾病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、消化器科、リハビリテーション科、精神科	259	40,617	225	73,994	606	114,611
長野県立こども病院	小児科、小児外科、心臓血管外科、循環器科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、産科、耳鼻いんこう科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科	200	23,996	136	24,877	200	48,873
計		1,220	164,043	908	216,578	1,762	380,621

(平成18年10月1日～平成19年3月31日)

介護老人保健施設名	入所定員	利用者数				延べ人員計
		入所		通所		
		延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県阿南介護老人保健施設 アイライフあなん	50	7,483	44	145	1	7,628
長野県木曾介護老人保健施設 アイライフきそ	50	8,331	46	394	3	8,725
計	100	15,814	90	539	4	16,353

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

1 医 業 収 益	149億1104万7766円	
2 医 業 費 用	<u>176億7560万 932円</u>	
営 業 損 益		△ 27億6455万3166円
3 医 業 外 収 益	40億8895万7742円	
4 医 業 外 費 用	<u>13億9603万9917円</u>	26億9291万7825円
5 介 護 老 人 保 健 施 設 収 益	4 億5540万2722円	
6 介 護 老 人 保 健 施 設 費 用	<u>4 億7252万5996円</u>	△ 1712万3274円
経 常 損 益		△ 8875万8615円
7 特 別 利 益	80万5857円	
8 特 別 損 失	<u>2015万9416円</u>	△ 1935万3559円
当 年 度 純 損 益		△ 1 億 811万2174円
当 年 度 繰 越 欠 損 金		<u>110億6102万7913円</u>
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		<u>111億6914万 87円</u>

貸 借 対 照 表

(平成19年3月31日)

資 産 の 部		
1 固 定 資 産	463億2596万6213円	
2 流 動 資 産	44億5487万9293円	
3 繰 延 勘 定	<u>11億 712万5298円</u>	
資 産 合 計		<u>518億8797万 804円</u>
負 債 の 部		
4 固 定 負 債	4 億4728万9436円	
5 流 動 負 債	<u>19億9035万9444円</u>	
負 債 合 計		24億3764万8880円
資 本 の 部		
6 資 本 金	323億1239万5449円	
7 剰 余 金	283億 706万6562円	
8 欠 損 金	<u>111億6914万 87円</u>	
資 本 合 計		<u>494億5032万1924円</u>
資 本 負 債 合 計		<u>518億8797万804円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成19年3月31日)

ア 資 産	518億8797万 804円
イ 企 業 債	320億6628万8175円
ウ 一 時 借 入 金	0円

(4) 平成19年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

営業関係については、5病院の年間延べ患者数は、入院33万7,300人、外来44万7,100人、また、介護老人保健施設の年間延べ利用者数は、入所3万3,200人、通所1,600人を見込み、収入で193億7,302万2千円、支出で207億798万円を計上しました。

建設改良関係については、木曽病院病棟リニューアル事業1億3,800万円のほか、こども病院リニューアル整備事業3億2,550万円などを計上しました。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款 病院事業収益	193億7302万 2千円
第1項 医 業 収 益	149億1257万 1千円
第2項 医 業 外 収 益	39億9212万 9千円
第3項 介護老人保健施設収益	4億6827万 2千円
第4項 特 別 利 益	5万 円

支 出

第1款 病院事業費用	207億798万 円
第1項 医 業 費 用	187億7591万 8千円
第2項 医 業 外 費 用	14億4704万 8千円
第3項 介護老人保健施設費用	4億6741万 3千円
第4項 特 別 損 失	1760万 1千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款 資本的収入	24億1246万 2千円
第1項 企 業 債	11億2200万 円
第2項 他会計負担金	12億9046万 2千円

支 出

第1款 資本的支出	32億 411万 5千円
第1項 建設改良費	11億6391万 6千円
第2項 企業債償還金	20億2559万 9千円
第3項 投 資	1460万 円

イ 経営の方針

公共の福祉と地域住民の医療確保に努め、企業の経済性との調和を図り、計画的、効率的に運営し、経営の健全化に努めます。

2 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成18年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、合計1億5,008万7,474キロワットアワーの電力を供給しました。また、既設発電所の改良工事等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

区分 月別	供給電力量 (A)	目標電力量 (B)	比率 (A)/(B) ×100 (%)	料金収入(定額・従量併用制)
前期計	2億1852万7541kWh	2億3658万4000kWh	92.4	18億0275万1255円
10月	2990万6544kWh	3400万1000kWh	88.0	2億9222万2323円
11月	2369万1993kWh	2629万7000kWh	90.1	2億8433万4111円
12月	1956万4703kWh	2500万8000kWh	78.2	2億7908万7081円
1月	2491万1690kWh	2183万6000kWh	114.1	2億8482万0928円
2月	2420万0239kWh	2344万3000kWh	103.2	2億8395万6125円
3月	2781万2305kWh	3159万8000kWh	88.0	2億8823万8961円
後期計	1億5008万7474kWh	1億6218万3000kWh	92.5	17億1265万9529円
合計	3億6861万5015kWh	3億9876万7000kWh	92.4	35億1541万0784円

(2) 経理の状況

損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

1 営業収益	34億3003万3299円	
2 営業費用	24億2086万2921円	
営業利益		10億917万378円
3 営業外収益	4149万4907円	
4 営業外費用	7億152万5567円	△ 6億6003万660円
経常利益		3億4913万9718円
当年度純利益		3億4913万9718円
前年度繰越欠損金		1億1087万4949円
当年度未処分利益剰余金		2億3826万4769円

貸借対照表

(平成19年3月31日)

資産の部

1 固定資産	271億9989万4136円
--------	----------------

2	流動資産	54億2834万5853円	
3	繰延勘定	34万3500円	
	資産合計		326億2858万3489円
		負債の部	
4	固定負債	10億6175万487円	
5	流動負債	2億2278万9953円	
	負債合計		12億8454万440円
		資本の部	
6	資本金	254億6122万9669円	
7	剰余金	58億8281万3380円	
	資本合計		313億4404万3049円
	負債資本合計		326億2858万3489円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成19年3月31日現在）

ア	資産	326億2858万3489円
イ	企業債	136億9171万2064円
ウ	一時借入金	0円

(4) 平成19年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億9,403万4千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計34億2,420万6千円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計33億4,831万2千円を計上しました。

(イ) 建設関係

電力の安定供給を図るため、既設発電所の改良を計画的に実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款	電気事業収益	34億2420万6千円
	第1項 営業収益	34億2420万4千円
	第2項 営業外収益	2千円

支 出

第1款	電気事業費用	33億4831万2千円
	第1項 営業費用	25億9706万3千円
	第2項 営業外費用	7億5124万9千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款	資本的収入	1144万1千円
-----	-------	----------

第1項 工事受託金 1144万1千円

支 出

第1款 資本的支出 13億7954万1千円
 第1項 建設改良費 1億6487万4千円
 第2項 受託工事費 1168万9千円
 第3項 企業債償還金 12億297万8千円

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により収入の増加を図り、安定した経営に努めます。

3 長野県水道事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成18年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市1町の給水区域に、1,877万9,245立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

月別 \ 区分	給水戸数	有収水量	水道料金
前期計	—	947万1645m ³	16億9483万9254円
10月	6万9075戸	174万7201m ³	3億1098万4748円
11月	6万9100戸	149万9124m ³	2億6951万0689円
12月	6万8955戸	158万1204m ³	2億8501万5694円
1月	6万8897戸	149万2233m ³	2億6772万0671円
2月	6万9045戸	161万1094m ³	2億8929万2190円
3月	6万9214戸	137万6744m ³	2億5060万3887円
後期計	—	930万7600m ³	16億7312万7879円
合計	—	1877万9245m ³	33億6796万7133円

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市及び塩尻市に2,947万6,924立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため送水施設の改良工事等を実施しました。

なお、供給量及び用水料金の状況は、次のとおりです。

月別 \ 区分	供給量	用水料金
前期計	1473万4924m ³	8億6891万8467円
10月	251万1000m ³	1億4807万3670円
11月	243万0000m ³	1億4329万7100円
12月	251万1000m ³	1億4807万3670円

1月	251万1000m3	1億4807万3670円
2月	226万8000m3	1億3374万3960円
3月	251万1000m3	1億4807万3670円
後期計	1474万2000m3	8億6933万5740円
合計	2947万6924m3	17億3825万4207円

(2) 経理の状況

損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

1 営業収益	50億6445万3789円	
2 営業費用	<u>33億0405万9659円</u>	
営業利益		17億6039万4130円
3 営業外収益	4915万5559円	
4 営業外費用	<u>10億2256万3496円</u>	<u>△ 9億7340万7937円</u>
経常利益		<u>7億8698万6193円</u>
当年度純利益		<u>7億8698万6193円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>7億8698万6193円</u>

貸借対照表

(平成19年3月31日)

資産の部		
1 固定資産	585億8415万6304円	
2 流動資産	40億2492万3680円	
3 繰延勘定	<u>103万2501円</u>	
資産合計		<u>626億1011万2485円</u>
負債の部		
4 固定負債	8億8674万0055円	
5 流動負債	<u>3億6587万9752円</u>	
負債合計		12億5261万9807円
資本の部		
6 資本金	392億5757万6307円	
7 剰余金	<u>220億9991万6371円</u>	
資本合計		<u>613億5749万2678円</u>
負債資本合計		<u>626億1011万2485円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高 (平成19年3月31日)

ア 資産	626億1011万2485円
イ 企業債	287億159万2954円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成19年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市1町の6万9,340戸に年間給水量1,878万8千立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市に年間供給量2,964万6千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計50億7,309万5千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計46億6,960万4千円を計上しました。

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、送・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款 水道事業収益	50億7309万5千円
第1項 営業収益	50億5627万7千円
第2項 営業外収益	1681万8千円

支 出

第1款 水道事業費用	46億6960万4千円
第1項 営業費用	36億2482万3千円
第2項 営業外費用	10億4478万1千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款 資本的収入	21億3216万2千円
第1項 企業債	14億0000万円
第2項 負担金	7億3216万2千円

支 出

第1款 資本的支出	46億1063万3千円
第1項 建設改良費	29億2869万4千円
第2項 企業債償還金	16億8193万9千円

イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため効率的な管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに危機管理体制の強化に努めます。

4 長野県観光施設事業の業務の状況

(1) 事業の概要

出資先である（社）長野県地域開発公団の清算を進めました。

民間主導による事業再生を図るため、浅間高原観光開発(株)の株式及び貸付金を渡辺パイプ(株)に譲渡しました。

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

1 営業外収益	35万7327円	
2 営業外費用	<u>23万7550円</u>	<u>11万9777円</u>
経常利益		11万9777円
3 特別利益	73万8260円	
4 特別損失	<u>1億3659万3966円</u>	<u>△ 1億3585万5706円</u>
当年度純損失		1億3573万5929円
前年度繰越欠損金		<u>38億4128万4023円</u>
当年度未処理欠損金		<u><u>39億7701万9952円</u></u>

貸 借 対 照 表

(平成19年3月31日)

資 産 の 部		
1 固定資産	3787万2618円	
2 流動資産	<u>1億2084万5231円</u>	
資産合計		<u><u>1億5871万7849円</u></u>
負 債 の 部		
3 固定負債	1287万6151円	
4 流動負債	<u>5417万1592円</u>	
負債合計		6704万7743円
資 本 の 部		
5 資本金	40億6868万9058円	
6 剰余金	<u>△ 39億7701万8952円</u>	
資本合計		<u>9167万0106円</u>
負債資本合計		<u><u>1億5871万7849円</u></u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成19年3月31日現在）

ア 資 産	1億5871万7849円
イ 企 業 債	0円
ウ 一 時 借 入 金	0円

(4) 平成19年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

平成14年度末をもって保健休養地事業と観光施設貸付事業を終了したため、収益は予定せず、費用として（社）長野県地域開発公団の清算業務に係る経費等を計上しました。

なお、予算の内容は以下の通りです。

(収益的支出)

支 出

第1款 観光施設事業費用	3009万7千円
第1項 特別損失	3009万7千円
イ 経営の方針	

(社)長野県地域開発公団の清算を進めます。